

9月1日は防災の日

短時間に襲う集中豪雨や
台風、地震に備え、家庭から
防災意識を高めよう

9月1日は、「防災の日」です。防災
の日は、大正12年9月1日に起きた関
東大震災の教訓を忘れない、という意
味と、この時期に多い台風などへの心
構えも含めて昭和35年に制定されま
した。いざという時慌てないように、
そしてみんなの命を守るためにでき
ることから防災対策をはじめましょ
う。

集中豪雨による急な増水
に注意!

梅雨から初秋にかけて突発的な集
中豪雨が発生します。特に、今年



▲水口町名坂・国道アンダーの冠水状況(6月16日)

九州・中国地方や兵庫県を集中豪雨に
よる土砂崩れや河川のはんらんが襲
い、多くの犠牲者が出ています。市内
でも道路冠水や、土砂崩れなどの被害
が一部で出ています。こうした記録的
な豪雨の原因として地球温暖化や都
市部のヒートアイランド現象などが
指摘されています。突然、局地的に発
生する雨雲については、気象レーダー
等でも予測が困難だとされています。
「また、大丈夫」と思っている、次の
瞬間一気に増水します。

天気急変に備えましょ
う!

◆真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗
くなる。

◆雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたり
する。

◆ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
◆大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

このような天気の変化を感じたと
きは要注意です。どんな時であって
も、ただちに安全な場所に避難しまし
よう。

問い合わせ

総務課 総合防災係

☎ 65-06665 ☎ 63-4554

ふれあいのまち 差別のないまち

9月は「同和問題啓発強調月間」です



昭和50年(1975年)の部落地名総監事件発覚から30
年以上にわたり、行政、企業等を中心に部落差別につな
がる身元調査をなくす取り組みが行われてきました。それ
にもかわらず、依然として身元調査が行われている
のが実態です。

就職は一人ひとりの人間にとって、生活の安定や生き
がいを求めるうえで、きわめて重要な意義を持っていま
す。採用時や入社後に、家庭の状況や出身地などで差別
することは決して許されません。

身元調査をなくす取り組みを今後も粘り強く進める
必要があります。同時に、その背景に、このような調査を
行わせる社会意識があることを知り、過去の問題ではな
く、現在の課題として、一人ひとりが差別をなくすため
に行動することが求められています。

甲賀市でも、依然として同和問題にかかわる差別落書
き等の事件が発生しています。その多くは差別語を使
い、同和地区や住民を排除や攻撃の対象にしたもので
す。落書きは、多くの人が目にするにより差別が助

長されるだけでなく、書かれた人々を長い間苦しめるこ
ともなります。インターネット掲示板への差別書き込
みは不特定多数の人が目にするだけでなく、削除も困難
なため、さらに深刻です。

わたしたちは、憲法に保障されている「法の下での平等」
を不断的努力によって守り、本当の意味で“人権が守ら
れた明るい社会”を一日も早く実現しなければなりません。

このため、県および各市町では、人権意識の高揚を図
り、差別意識の解消に向けた一層の啓発活動を推進する
ために、9月を「同和問題啓発強調月間」と定めています。

期間中、甲賀市では、甲賀市人権教育推進協議会等と
協力して、市内の各駅や大型量販店等で街頭啓発活動
を行うなど、集中的に啓発行事を実施します。

みんなが力を合わせ、一人ひとりの人権が尊重される
まちをつくっていきましょう。

問い合わせ 人権推進課 ☎ 65-0693 ☎ 63-4582